

2027年3月期 第1四半期 決算説明補足資料

株式会社鶴見製作所
2026年8月7日

(東証PRM6351)

■国内設備機器市場向け販売の大幅な伸長や、北米・アジアを中心とした海外販売の堅調な推移、利益率が期初想定値より改善したこと等を踏まえ、中間期及び通期の業績予想を上方修正。

■中期3ヶ年経営計画「Transformation2027」の一環として富士丸産業株式会社を完全子会社化(非連結)。製造、レンタル、施工、修理・メンテナンスを組み合わせた総合提案力を強化し、社会インフラ分野での事業基盤を強化。これを記念し、中間配当として1株当たり**3円**の記念配当(普通配当13円と合わせ16円)を実施予定。

国内部門

建設機械市場 設備機器市場

環境配慮ニーズの高まりを背景に、電極式水中ポンプ・中型水中ポンプが堅調に推移
脱炭素対応やコスト最適化ニーズの高まりを受け、**スマッシュポンプ**の採用拡大により売上が大幅増加
同製品シリーズは道路陥没復旧工事などで低水位連続運転性能が評価され、売上伸長に貢献

その他市場

- ・工具工場市場では、小型水中ポンプが好調
- ・プラント市場では脱水機が好調

ただし、前年同期に計上した高収益案件の反動減があり、国内部門全体の売上高は増加

海外部門

北米地域

関税の影響による買い控えが一部で見られたものの、鉱山市場向けや小型建設用ポンプの需要が堅調に推移したほか、公共下水市場向けの案件が進展するなどして売上高は増加

アジア地域

ASEAN諸国の内需が堅調に推移。シンガポール・タイで**スマッシュポンプ**の受注が拡大したほか、半導体関連需要の取り込みや、インフラ・排水案件の伸長により売上高は増加

欧州地域

建設・汚水用水中ポンプの需要は堅調に推移したが、価格競争の激化により現地通貨ベースでの売上高はほぼ横ばい

その他地域

中国市場における不動産不況や米中貿易摩擦の影響により売上高は減少。
一方、TSURUMI PUMP MIDDLE EAST FZCOを新たに連結対象に追加。

		前年同期比	通期業績予想
■ 売上高	194億円	13億円	778億円
■ 営業利益	28億円	△1億円	94億円
■ 経常利益	36億円	13億円	105億円
親会社株主に帰属する ■ 四半期純利益	26億円	14億円	73億円

2027年3月期1四半期 連結決算概要

(単位:百万円)	2026年3月期 第1四半期	2027年3月期 第1四半期	増減額	2027年3月期 中間予想	2027年3月期 通期予想	進捗率
売上高	18,111	19,479	1,367	37,000	77,800	25.0%
売上総利益	7,155	7,484	329			
販売費及び 一般管理費	4,153	4,632	479			
営業利益	3,001	2,852	△ 149	5,400	9,400	30.3%
営業外収益	433	878	445			
営業外費用	1,090	48	△ 1,042			
経常利益	2,345	3,682	1,337	6,000	10,500	35.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,231	2,640	1,409	4,200	7,350	35.9%

参考 為替レート

対米ドル(円)	144.81	162.39
---------	--------	--------

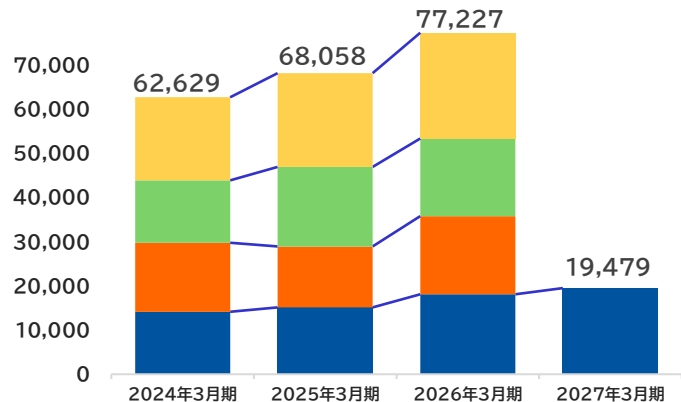
※()内は2026年3月期末からの増減

資産の部 138,274 (+1)	流動資産 86,978 (△842)	流動負債 20,986 (△2,494)	負債の部 31,980 (△2,717)
	固定資産 51,295 (+842)	固定負債 10,994 (△223)	
		自己資本 104,645 (+2,597)	純資産の部 106,293 (+2,718)
		非支配株主持分 1,648 (+121)	

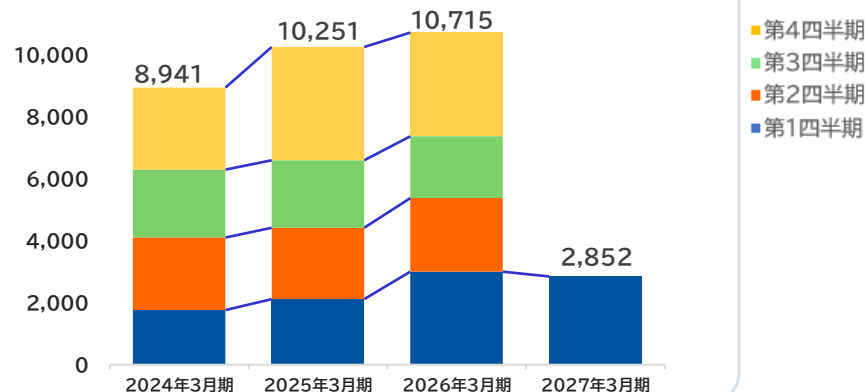
自己資本比率 75.7%

(単位:百万円)
※百万円未満切捨て

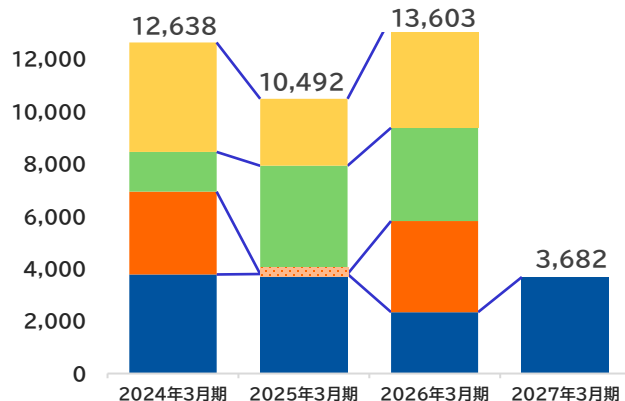
売上高



営業利益



経常利益



(単位:百万円)
※百万円未満切捨て

Point

円安が進行し、為替差益402百万円を計上(前年同期は930百万円の為替差損を計上)

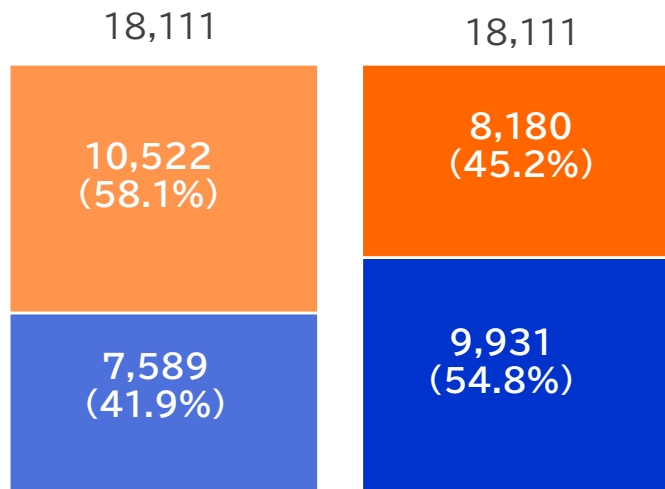
【参考】

2025年6月為替レート：144.81円(2025年3月 149.53円)

2026年6月為替レート：162.39円(2026年3月 159.90円)

※経常利益:2025年3月期 第1四半期 3,801百万円、第2四半期 △82百万円

2026年3月期 第1四半期

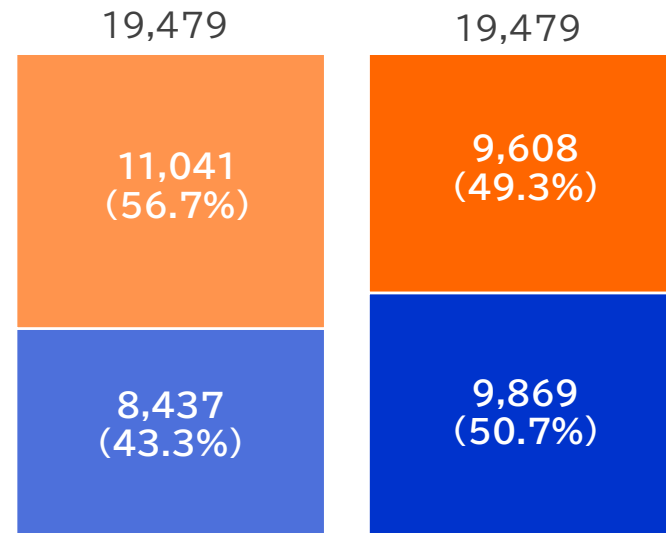


販売先地域別

営業部門別

海外	10,522(58.1%)	8,180(45.2%)
国内	7,589(41.9%)	9,931(54.8%)
合計売上高	18,111	18,111

2027年3月期 第1四半期



販売地域別

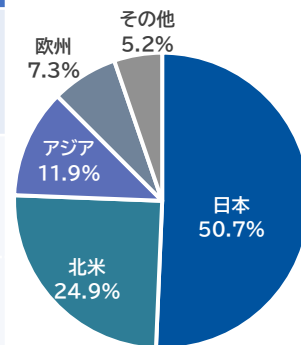
営業部門別

11,041(56.7%)	9,608(49.3%)
8,437(43.3%)	9,869(50.7%)
119,479	119,479

Point

- 日本： 売上高は増収、セグメント利益は増益
- 北米： 売上高は増収、セグメント利益は増益
- アジア： 売上高は増収、セグメント利益は増益
- 欧州： 売上高は増収、セグメント損失が減少
- その他： 売上高は減収、セグメント利益は減益

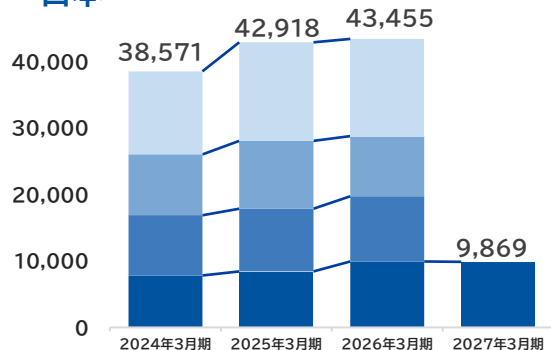
(単位:百万円)	日本	北米	アジア	欧州	その他	調整額	合 計
売上高 (前年増減率)	14,771 (12.0%)	4,857 (38.1%)	4,770 (20.8%)	1,578 (12.4%)	1,804 (△2.7%)	△8,303	19,479 (7.5%)
外部顧客 への 売上高	9,869	4,857	2,313	1,416	1,022	—	19,479
内部 売上高 又は 振替高	4,901	—	2,457	162	782	△8,303	—
セグメント利益 又は損失(△)	2,449	430	613	△77	273	△837	2,852

外部顧客への
売上高構成比

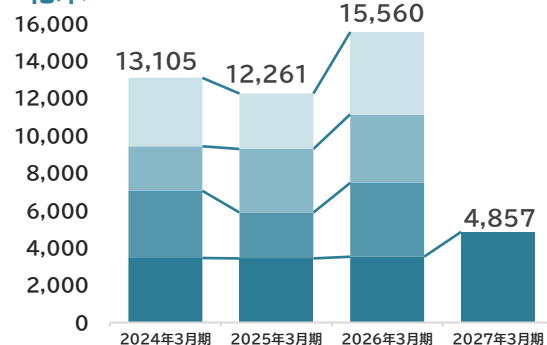
※「その他」の区分は、中国等の現地法人の事業活動を含んでおります。
※百万円未満切捨て

(ご参考)セグメント別売上高推移表

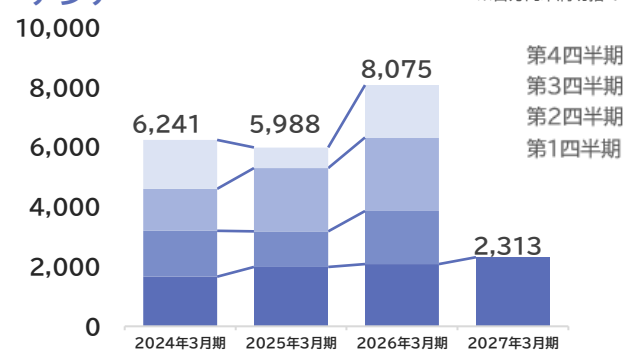
・日本



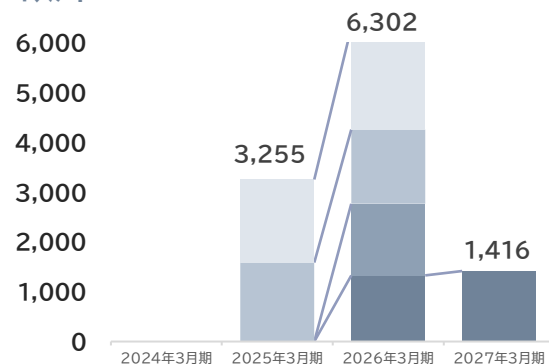
・北米



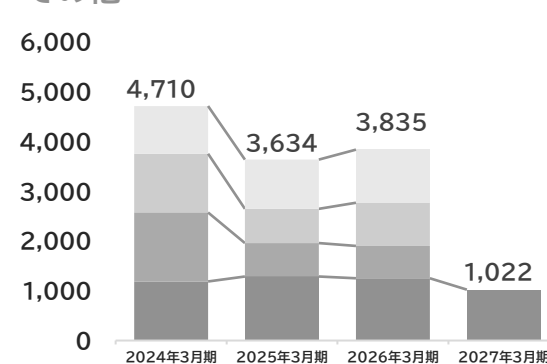
・アジア



・欧州



・その他



地域セグメントの対象会社一覧

日本

- ・株式会社鶴見製作所
- ・株式会社ツルミテクノロジーサービス
- ・株式会社テクノロジーサービス北條
- ・株式会社アロイテクノロジー

北米

- ・TSURUMI(AMERICA),INC.

アジア

- ・TSURUMI PUMP TAIWAN CO.,LTD.
- ・TSURUMI PUMP VIET NAM CO.,LTD.
- ・TSURUMI PUMP HONG KONG CO.,LTD.
- ・TSURUMI(SINGAPORE)PTE.LTD.
- ・TSURUMI PUMP(THAILAND)CO.,LTD.

欧州

- ・ZENIT INTERNATIONAL S.P.A.

その他

- ・SHANGHAI TSURUMI PUMP CO.,LTD.
- ・TSURUMI VACUUM ENGINEERING(SHANGHAI)CO.,LTD.
- ・TSURUMI AUSTRALIA PTY LTD
- ・TSURUMI PUMP MIDDLE EAST FZCO

決算年月	2017年3月	2018年3月	2019年3月	2020年3月	2021年3月	2022年3月	2023年3月	2024年3月	2025年3月	2026年3月
売上高(百万円)	39,064	40,347	43,461	45,604	45,325	51,214	56,219	62,629	68,058	77,227
営業利益(百万円)	4,294	4,637	4,945	5,166	5,549	5,508	7,263	8,941	10,251	10,715
売上高営業利益率(%)	11.0	11.5	11.4	11.3	12.2	10.8	12.9	14.3	15.1	13.9
経常利益(百万円)	4,534	4,703	5,734	5,475	6,404	7,368	8,991	12,638	10,492	13,603
売上高経常利益率(%)	11.6	11.7	13.2	12.0	14.1	14.4	16.0	20.2	15.4	17.6
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	3,063	3,248	4,013	3,952	4,156	4,817	6,262	8,288	8,783	5,160
売上高当期純利益率(%)	7.8	8.1	9.2	8.7	9.2	9.4	11.1	13.2	12.9	6.7
1株当たり当期純利益(円)※	61.17	64.88	80.14	78.92	83.00	96.25	126.98	168.81	179.36	107.34
純資産(百万円)	53,364	56,642	59,405	62,010	66,874	71,848	78,161	90,195	95,852	103,575
1株当たり純資産(円)※	1,049.00	1,113.50	1,169.27	1,221.09	1,317.60	1,420.88	1,568.85	1,801.56	1,946.93	2,127.53
ROE(自己資本利益率)(%)	6.0	6.0	7.0	6.6	6.5	7.0	8.5	10.0	9.6	5.3
ROA(総資産利益率)(%)	4.7	4.7	5.6	5.1	5.1	5.5	6.3	7.2	6.7	3.7
総資産(百万円)	64,785	68,699	72,160	76,939	81,487	87,299	99,000	115,351	131,509	138,273

※当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割しております。2017年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」「1株当たり純資産」を算定しております。

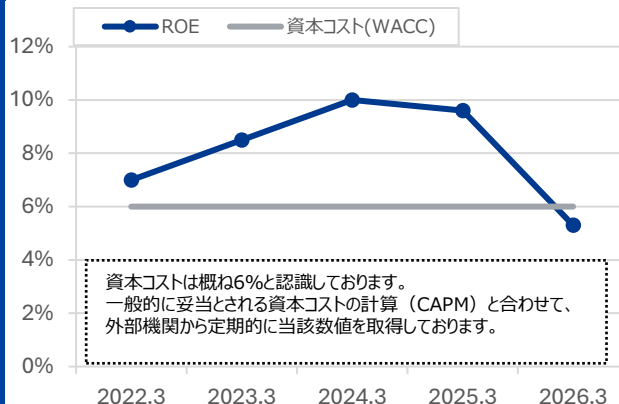
資本収益性

ROE (2026.3実績)
5.3%

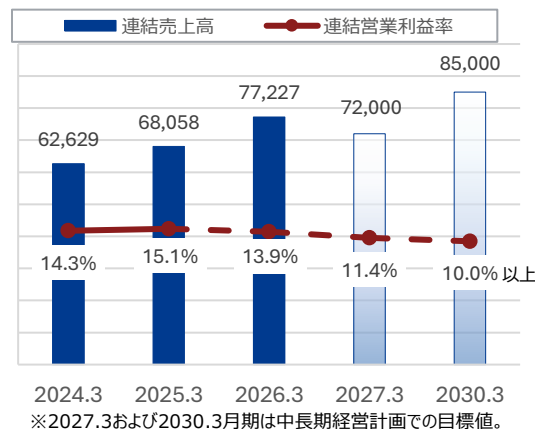
ROIC (2026.3実績)
7.5%

※当社の業態は水中ポンプ専業であるため、事業別ROICを算出していません。

ROEの推移



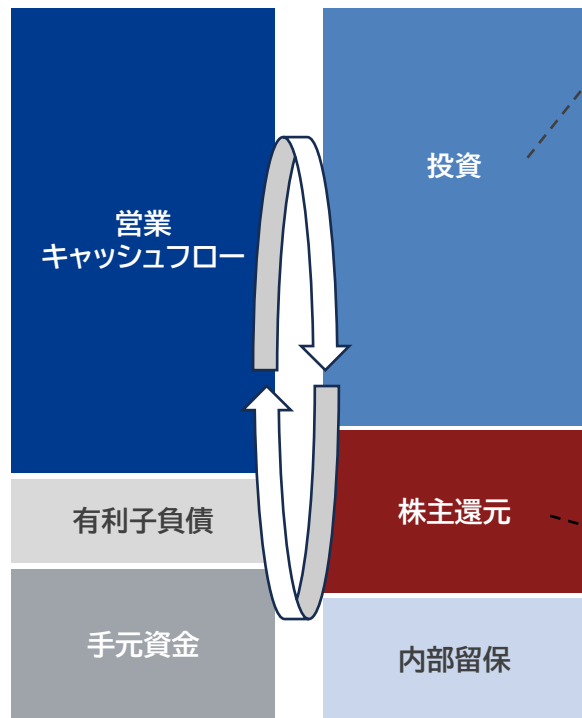
連結売上高・連結営業利益の推移



■ 資本収益性の目標値とその向上施策

- ◆ 長期的 (2030年3月期まで) に営業利益率10%以上、ROE10%以上を達成
- ◆ 最適資本構成を意識した有利子負債の更なる活用、ならびにグループ資金の効率的な運用
- ◆ モータや鋳物部材など水中ポンプ主要部材の内製化推進、ならびに種々生産性の向上によるQCDの改善
- ◆ スマッシュポンプに代表される、高効率化・省人化に確実に寄与する、付加価値の高い製商品の開発
- ◆ 拡大余地の大きいグローバルな設備市場や鉱山市場における当社市場占有率の向上

中長期を見据えた積極的な成長投資や、次の100年に繋げるBCP投資の財源を確保しつつ、自己株式の機動的な取得や確実な累進配当施策をベースとした株主還元を実施し、資本収益性の向上へ



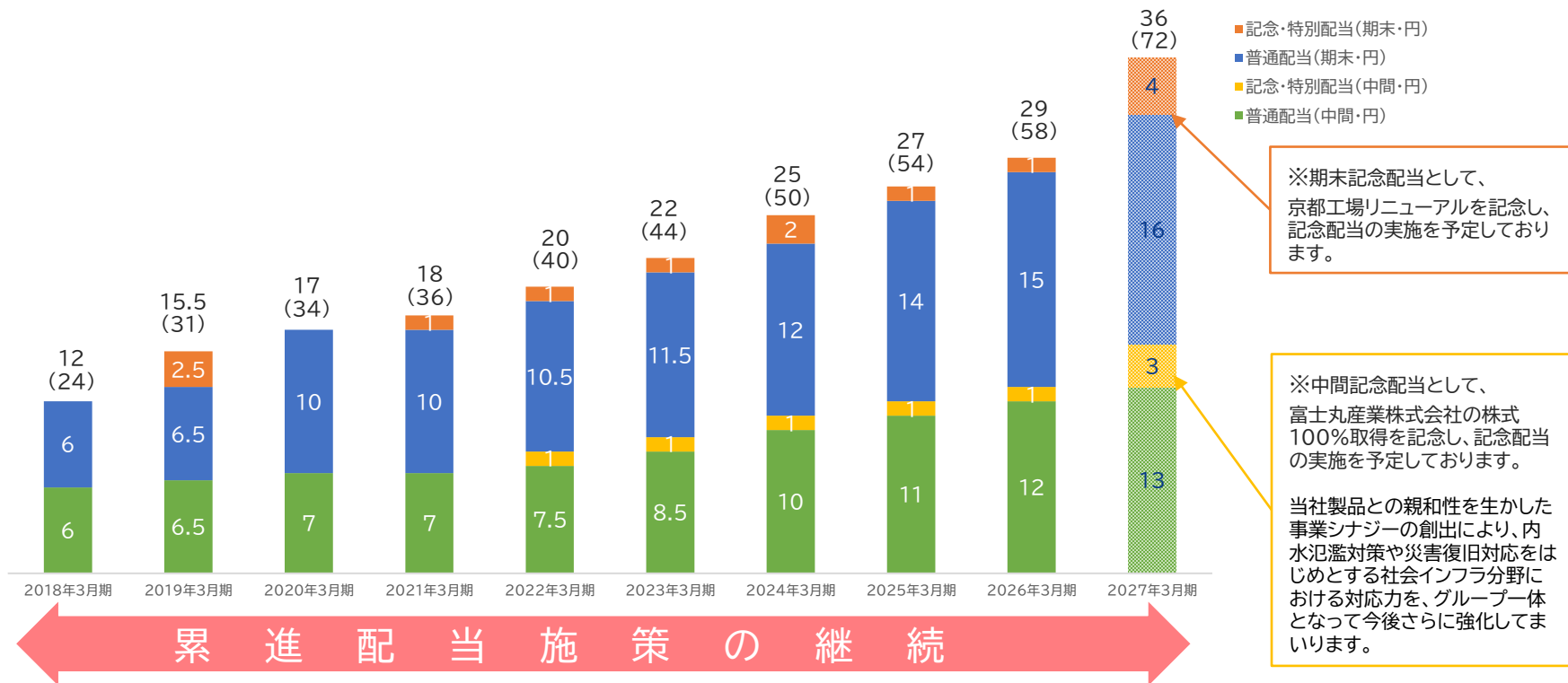
■ 成長投資・BCP投資、資金調達

- ◆ 今後5年間にける成長投資ならびBCP投資（総額185億円程度の見込み）
 - ▶ モータや鋳物部材といった水中ポンプ主要部材の内製化を新製法により推進、ならびに南海トラフ地震など発生確度の高い大規模災害への備えも含むBCP投資：80億円
 - ▶ グローバルな社会課題である気候変動対策や省人化に寄与する技術研究・製品開発：25億円
 - ▶ ESG経営の一環として太陽光発電・再生可能エネルギーを活用：10億円
 - ▶ グローバル設備市場、鉱山市場の攻略と市場占有率の拡大（M&Aや業務提携）：50億円
 - ▶ サステナブルで効率的な経営を実現するためにグループ基幹システムを再構築：20億円
- ◆ 資金調達における他人資本（有利子負債）の活用や政策保有株式の縮減

■ 株主還元施策

- ◆ 株式市場の動向を見定め、かつ流動性に配慮しつつ、機動的に自己株式を取得
- ◆ 累進配当施策の継続（目標配当性向30%）

※各項目の大きさは予想収入・支出額を示すものではありません。



(注)

- ・直近に公表されている配当予想からの修正の有無:無
- ・2025年10月1日付で普通株式1株を2株に株式分割を実施しました。
- ・2018年3月期の期首に株式分割が行われたと仮定して算出しております。
- ・()は株式分割前の金額。

株式会社 鶴見製作所

TSURUMI MANUFACTURING CO., LTD.

- 創 業 1924年(大正13年) 1月5日
- 資 本 金 51億8,850万円
東京証券取引所プライム市場上場
- 売 上 高 772億円(連結/2026年3月期)
- 従 業 員 1,635名 グループ計(2026年3月期)
嘱託、契約社員、パートを除く

■会社概要

水中ポンプを主力とした各種ポンプ、環境装置とその関連機器の製造・販売を行い、ポンプ事業を中心に「水と人とのやさしいふれあい」を追求。わたしたちのポンプは、国内外の主に土木建設工事や下水道、水処理市場などで活躍しており、北米・アジア・欧州・豪州・中東・アフリカ地域にも販売網を確立しています。生産拠点は、国内のマザー工場である京都工場を中心に、米子工場のほか中国・台湾・ベトナム・イタリアに展開しています。





ツルミの製品は工事現場をはじめ工場、発電所や各種産業施設など数多くの場所で活用されています。
また、大雨や台風による河川の氾濫を防ぐ排水機場や、暮らしを支える水処理施設、人々の憩いの場となる水景施設など、
さまざまな場所でポンプメーカーとしてのノウハウを生かした製品が採用されています。

建設機械市場

建設・土木分野

工事現場での排水・揚水に貢献



建設・土木工事

トンネル工事

鉱山・掘削現場

設備機器市場

産業・設備分野

工場や設備の排水を支える



ビル・工場設備

農業・灌漑

水産・畜産施設

造船場

発電所

景観・遊戯施設

インフラ分野

公共インフラの排水・防災・減災を支える



下水処理場

排水機場

河川・治水

水害対策

免責事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【お問い合わせ先】

株式会社鶴見製作所 広報・IRチーム

TEL:06-6911-2351

Email:kabushiki@tsurumipump.co.jp